

2025 vol.01

7/12 sat

関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化研究科

公開セミナー & 入試相談会

kwansei gakuin university

入場無料・事前申込制

＊セミナー（13:00－14:20）

講演タイトル 言葉の意味を理解するとは

講師 う え だ か ず ひ こ
上田 和彦（言語コミュニケーション文化研究科・教授）

＊入試相談会（14:30－16:30）

※最終入場 16:00

西宮上ヶ原キャンパス B号館103教室

西宮市上ヶ原一番町1-155

 関西学院大学大学院
言語コミュニケーション文化研究科

tel.0798-54-6180

www.kwansei.ac.jp/g_language

公開セミナー 2025. 7/12 sat (13:00-14:20)

入場無料
事前申込制

大学院言語コミュニケーション文化研究科の教員による講演会「公開セミナー」を開催します。
セミナーの後は、研究科説明会および入試相談会を開催します。
どなたでも自由にご参加いただけますので、お気軽にお申込の上、ご来場下さい。

*講演タイトル

言葉の意味を理解するとは

*概要

わたしたちは言葉の意味をどのように理解しているのでしょうか。忙しく暮らしている日常生活ではそんな問いを発する暇はないでしょうが、ふと立ち止まって考えてみると驚かすにはいられないでしょう。日本語を話し書く人々は、漢字の熟語、たとえば「最近」という言葉を理解するのに、たいてい「もっとも」「ちかい」と漢字に仮名を振り、訓読みにして理解します。逆に「さいきんのけいこうは」と仮名の音声が続けて聞こえてきたときには、あたかもパソコンで変換するように「最近の傾向は」と漢字を選び出しています。つまり漢字には仮名を振り、仮名には漢字を当てて、ぐるぐると回りながら文章を理解しているようです。ではアルファベットの言語を話す人々はどうなのでしょう。今回の講演では、古井由吉のエッセイ「言葉の薄氷を踏んで」を手がかりに、言葉の意味を理解するとはどういうことか一緒に考察しましょう。

*講師紹介



うえだ かず ひこ
上田 和彦

(言語コミュニケーション文化研究科・教授)

関西学院大学法学部および言語コミュニケーション文化研究科教授。
博士(文学)。専門はフランス思想研究。

■主な刊行物

- 『フーコー研究』(共著 岩波書店、2023年)
- 『われわれはどんな「世界」に生きているのか』(共著 ナカニシヤ出版、2019年)
- 『人文学宣言』(共著 ナカニシヤ出版、2019年)
- 『現代思想と政治』(共著 平凡社、2015年)
- 『啓蒙の運命』(共著 名古屋大学出版会、2011年)
- 『レヴィナスとブランショ』(単著 水声社、2005年)

*会場アクセス

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

阪急電車 今津線「甲東園」駅
または「仁川」駅から西へ
徒歩約12分
または「甲東園」駅から
阪急バス約5分
「関西学院前」下車

西宮市上ヶ原一番町1-155
B号館103教室

https://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_000374.html



*「公開セミナー&入試相談会」

詳細・お申込みはこちら



https://www.kwansei.ac.jp/g_language/news/detail/67

お申込み締切日: 2025年7月10日(木)